

会 議 録

会 議 名		燕市健康づくり推進委員会		
事 務 局		健康福祉部健康づくり課		
開催日時		平成28年7月28日(木) 午後1時30分から午後3時00分		
開催場所		燕市役所 会議室301		
出席者	委 員	甲田委員、高井委員、外石委員、武藤委員(代理)、捧委員、柴山委員、上之山委員、高畑委員、玉木委員(欠席)、中川委員、捧委員、川瀬委員、田村委員、大滝委員(欠席)、田中委員(欠席)、丸山委員、櫻井委員、亀倉委員、込山委員		
	事務局等	健康福祉部：小林部長、金子副部長／健康づくり課：佐藤課長、丸山副主幹、南波補佐、細貝副参事、五十嵐副参事、篠田副参事、大西係長、／保険年金課：桑原補佐／社会教育課長：宮路課長		
公開可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由				
次 第		<p>1 開会 佐藤課長</p> <p>2 あいさつ 小林部長</p> <p>3 委員紹介 佐藤課長</p> <p>4 議 題 (1) 会長、副会長の互選について (2) 平成27年度燕市健康増進計画の進捗状況について (3) その他</p> <p>5 閉 会 小林部長</p>		

平成28年度第1回燕市健康づくり推進委員会 会議録要旨

平成28年7月28日（木）

午後1時30分から3時00分

市役所：会議室301

課長

開会前ではありますが、資料のご確認をお願いいたします。

本日机上配布させていただきました次第、委員の皆様の名簿、座席表、当委員会の規定、それから事前に配布させていただきました資料2-2の差し替えということで、配布させていただいております。

資料1と2-1につきましては、事前に配布させていただきました、本日もご持参いただくようご案内させていただきましたが、資料のない方がいらっしゃいましたら、お声かけいただきたいと思っております。

課長

定刻となりましたので、只今より、平成28年度第1回燕市健康づくり推進委員会を開催させていただきます。委員の皆様方には、ご多忙のところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

日頃、皆様方には当市の保健推進事業には温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

本日、会議全体の進行役を務めさせていただきます、健康づくり課長の佐藤と申します。よろしくをお願いいたします。

本日の出席状況でございますが、玉木委員、大滝委員、田中委員から欠席の連絡をいただいております。また、三条地域振興局健康福祉環境部の武藤委員の代理で伊藤副部長よりご出席をいただいております。

それでは、さっそくですが、開会のあいさつということで小林健康福祉部長よりごあいさつ申し上げます。

部長

皆さま、こんにちは、健康福祉部長の小林でございます。

本日、第1回燕市健康づくり推進委員会の開催にあたりまして、委員の皆さまには、ご多用のなかご出席賜り厚く御礼申し上げます。

日頃、皆さまには当市の保健福祉行政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたび皆さま方に対しまして、燕市健康づくり推進委員会委員を委嘱させていただきました。任期は平成29年度までの2年間となりますが、市民の健康づくりの推進役として、ご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

さて、燕市は今年3月に合併10周年の記念式典を開催いたしまして、今年度は次

の10年に向けてのスタートの年になります。人口減少に歯止めをかけ、地域社会で、きらきら輝く人を増やし、地域の活性化を図ることをめざしまして、健康福祉部では、市民が主役の健康づくり、生きがいつくりという主要な部分を担ってまいります。引き続き関係団体や地域住民の方々と連携して取り組みを進めていきたいと考えます。本日の委員会では、平成25年度からスタートしました第2次燕市健康増進計画の保健事業につきまして、平成27年度の評価をお願いすることが主な議題となります。平成29年度の目標に向けて、どのような取り組み状況であったのか保健事業ごとに評価シートを作成いたしましたので、評価をよろしく願いいたします。また、その他のところでお話させていただき健康づくりマイストーリー運動、元気ががやきポイント事業につきましては、今年で3年目に入りました。昨年は6,300人を超える皆さまから参加していただき、今年は、人口の1割、8,000人の参加を目指して、周知に努めてまいりました。担当の方から取り組み状況などを説明させていただき予定しております。今日、皆さま方から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げまして、開会のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

課長

続きまして、次第の3、新たに2年間の委員をお願いいたします皆さまの自己紹介をお願いいたします。

お手元に、名簿がございますが、名簿順に所属とお名前をお願いいたします。

それでは、名簿1番の甲田委員さんからお願いいたします。

「委員自己紹介」

「職員の紹介」

課長

次に、次第の4、(1)会長、副会長の互選に移りたいと思います。

【委員会設置の趣旨説明】

規程によりまして、会長、副会長の互選をお願いしたいと思いますが、自薦、他薦、どちらでもよろしいのですが、いかがでしょうか。

委員

柴山委員を推薦いたします。

課長

他に他薦等は、ございませんでしょうか。

今ほど、川瀬委員より柴山委員を会長にというお話がありましたが、事務局といたしましても、会長には柴山委員、副会長には甲田委員をお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

委員

異議なし

課長

それでは、これから2年間は柴山会長、甲田副会長のもと、当委員会を進めていきたいと思っております。

規定に基づきまして、会議の進行をお願いしたいと思っておりますので、指定のお席の方へお願いいたします。

柴山会長、甲田副会長、一言ずつお願いいたします。

会長

あらためて、皆さまこんにちは。

また、引き続きまして、2年間会長を務めさせていただくことになりました。

会議がうまくいくもいかないも、全て委員の皆様方のご協力次第でございますので、よろしくをお願いいたします。

副会長

甲田と申します。

健康というものは、国民が健康を維持するという意味もあるし、地方公共団体、病院や社会全体が協力する義務があるという法律があります。委員の皆さまを拝見いたしますと、学校保健、地域保健に関わる方はいらっしゃいますが、産業保健に関わる方が入っていないように思います。そういった関係の方も必要かなと思っておりますが、いずれにいたしましても重要な会議であると思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

課長

それでは、柴山会長、議事進行をお願いいたします。

議長

それでは、さっそく、議題にうつらせていただきます。議題の(2)「平成27年度燕市健康増進計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

資料1、資料2-1、資料2-2に基づいて説明

議長

ありがとうございました。

ここまでの報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございましたら、挙手

をお願いします。

しばらくして無いようですが、甲田委員さん、専門的な立場から、ご意見申し上げることはありませんでしょうか。

委員

評価の中では、検診事業、介護予防の関係、4番、6番になりますが、Cという評価で、これは、現状をもっと改善する必要がある、これからもっともっと改善できるということで、我々も協力して一緒にやっていきたいと考えております。

少し話題が外れるかもしれませんが、いろんな疾患が見つかって、結局、病院なり医院なりに来て治療が始まることもあるし、また、途絶えてしまうこともあるんですね。これは、構造的な問題というか社会構造的な問題としてあるが、このような人は健康に対する意識レベルが低いですし、家庭にいろんな個人的な状況をもっている、収入もそうですし、住居とか、そういった社会のしわ寄せを受けている方たちが、せっかく医療機関に来て、また足が遠のいてしまう状況があります。また、こういった検診を受ける人たちも、関心をもっている人は来ますけれども、余裕の無い人たちは来ないということで、どうしても重症化してしまう人がでてきてしまうと、私は、最近感じていますが、これは社会的なもの、指摘されていることと思いますが、そういった人たちをどのように救うか、これは、ここだけで解決できる問題ではないと思いますが、そういったことを感じました。ただ、病院で治しているってことは、川の流れで言えば下流部分ですよ、ただこういった上流部分で良い対策を打たないと、やっぱりだめだとみんな感じていることですので、良い方法を見つけていくということで、お願いしたいと思って聞いておりました。

議長

ありがとうございました。

10番の歯科保健事業について、委員いかがでしょうか。

委員

10番の歯科保健につきまして、今年度も16年連続新潟県が日本で、12歳児の虫歯が少ない県ということでトップを走っておりますが、新潟県の中でも市町村別で見ると、燕市はベスト5位くらいだったかと思いますが、かなり上位にありますので、フッ化物洗口をだいぶ早くから取り組まれた影響が良いふうに出ているなと思っております。反面、第二大臼歯というだいたい中学1年くらいから生えてくる奥歯、親知らずの手前の歯なんですけど、その歯だけが穴があいてくる中学生がすごく多かったという過去があったんですが、一昨年に、中学生から、第二大臼歯が生えてくる頃に、フッ化物洗口ができることになったので、そういった第二大臼歯だけ穴があくことがだんだん少なくなっていくだろうと期待しております。以上です。

議長

ありがとうございました。

他にご意見はございませんでしょうか。

委員

歯科健診で、訪問歯科健診がすごく好評のようですが、何か先生方のほうには届いておりますか。

委員

訪問歯科健診といいますのは、新潟県の歯科保健事業で、要介護3以上の在宅の方に関しましては、無料で歯科医師と歯科衛生士が訪問して検診する事業があります。

それだけだと周知徹底されませんので、燕市さんと連携しまして、独自の歯ッピーフエア、歯ッピ一検診を作りまして、新規の要介護3以上になった方に対して、無料訪問検診が受けられようにしております。

委員

治療もやっってくださいののですか。

委員

基本的には、その日のうちに治療をしてしまうと訪問診療になってしまいますので、後日、医療保険で訪問してやることになります。

委員

訪問診療については、非常に便利だと、助かっているという方が多くいらっしゃいます。

委員

がんばります。

議長

ありがとうございました。

他にございませんか。

委員

一点確認させていただきたいのですが、甲田先生から産業保健の関係でお話がありましたけれども、燕市のほうでデータベース計画を保険年金課のほうで所管されているかと思いますが、そちらの進行管理はそちらの計画でもっているということでしょうか。

保険者がやっているものですがけれども、イコール産業保健というわけではないんですけれども、いわゆる別の評価の機関が燕市のなかにあるにあるということです。いわゆる連携の部分がすごく大事だなと思って、私どももここだけ出ていると、このことはわかるんですけれども、特定検診、特定保健指導の詳細な部分の評価は、概要に書いてはありますが、どうなっているのか気になっているところで、質問させていただきました。燕市に対して、保健所の立場からみて、歴史的なものもあると思いますが、難しい言葉で言えば、オペレーションアプローチという視点が以前から重要視されていて、そういったところで今のポイント制度の事業とか健康づくりマイストーリー運動が出てきていると思うので、そういったところで県の中でも注目されている市だと思いますので、これからもそういった視点を大事にしてやっていただければと思います。

また、手前事で申し訳ないのですが、保健所の事業とかもいろいろあるんですけれども、いろいろ共催とかやっていた部分も多くありますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

議長

ありがとうございました。

他に委員の皆さま、ございませんでしょうか。

委員

今年度から、小学校低学年に、こども手帳が配られて、学校でも夏休み前に配布をしております。その結果の回収率とか、ポイントがどれくらい達成されたかとかの集計がされましたら、学校の方へフィードバックしていただけると、今後の参考になりますので、よろしくお願ひいたします。

課長

ご要望、ありがとうございます。こちらでもアンケートの依頼もさせていただいておりますので、集計が終わり次第、フィードバックということでお返ししたいと思っております。それから先程からご意見をいただいていることで、少し補足ということで、高井先生から訪問指導診療のお話、甲田先生から説明いただきました。

本日、用務のために欠席ですが長寿福祉課と連携を取りまして、さきほど説明があり

ましたが、要介護3の患者さんの検診については、連携をしながら取り組んでいるところでは、

それから、伊藤副部長よりご意見をいただいたオペレーションアプローチということで、健康づくりマイストーリー運動が3年目になります。こども手帳なども導入した経過もありますので、もう一年、来年、くぎりで行っていく予定になっておりますので、今後とも強化しながら実施してまいりたいと思っております。

議長

ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

なければ、(3)のその他にうつらせていただきます。

事務局からの説明をお願いいたします。

事務局

資料3に基づいて説明。

議長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆さま方からの質問をお願いいたします。

委員

ひとつ質問をお願いいたします。資料3の1ページの下の方で男性の方の登録数が増えているということですが、どう思慮しても、なかなか男性の方の参加が得られないというのは大きな課題となっております。どういった男性の方か、たとえば年代的なものとか、こういうお仕事をされていた人とか、そういったどういった方が登録されているのか、登録のきっかけなどわかる範囲でけっこうでございますがお聞かせいただければと思います。

事務局

ご質問ありがとうございます。まず一番考えられますのは、さきほど資料1の説明のところとかで申し上げましたけれども、市民協働の健康づくりということで健康増進計画実践プロジェクトの元気磨きたいのメンバーなんですけれども、その内訳を見ておりましたが、平成20年度に誕生したころには、男性は2名ほどしかいなかったのですが、現在は50人以上とかになっておりますので、まあささいな人数ですけれども、たとえばそういった元気磨きたいに入ったことをきっかけに各種男性料理教室

ですとか、検診後のいろんな教室において、つながりやすくなったり、私たちも意識的に男性は出ていただきたいということで、第2次健康増進計画においても男性の参加者を増やすということに力を入れておりますので、元気磨きたいへの加入プラス各種教室にも、なるべく繋げようという努力はしております。そちらが考えられることと特定検診の会場で、今年度、本来、登録申請書を書いていただくことによって登録者になりますが、受診票にポイント手帳を希望するかどうか記入することによって、登録することができるように手続きを簡略化いたしました。保健師が保健指導しながらPRした結果、男性の方は手帳の中にあるウォーキングマップとかに、はまる方が結構多くて、歩いていらっしゃる男性の方が多く、こういった中身に魅力を感じられて、女性に比べて男性の方はひとりでもコツコツ続けられる方が多いかなと思っているんですけれども、こういった男性特有の性質にも、意外とポイント事業がマッチしているのではないかと考えております。以上です。

議長

ありがとうございました。

委員

だいたい年代的には、どうですか。

事務局

年代は、やはり60代、70代が中心で、最近の傾向では80代の方もいらっしゃいますが、やっぱり定年退職後、時間ができて、何かしなければとか、体のささいな不調が出てきて、健康への関心が高まってきて、それでやるといった方が多いです。

委員

ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

委員

高齢者の低栄養についてお聞かせ願いたいのですが。サルコペニアとか、フレイルとかいう言葉が出てきますけれども、昭和初期より低栄養の高齢者が多いのではない

かというぐらい高齢者の低栄養が問題になっていまして、なんで問題になるかという
と活動性が低下して転倒のリスクとか、転倒して入院してQOLが下がる、感染しやす
いし、誤嚥性肺炎になりやすいし、重症化しやすいし、繰り返す、そういった低栄養
がしばらく続くと血清アルブミンが低値になって、低値が何カ月か続くと認知症のリ
スクが2倍になるとか、そういうデータが最近出ていますけど、高齢者の低栄養対す
る指導とか、何か予定されているのでしょうか。

議長

事務局お願いします。

事務局

ご質問ありがとうございました。

高齢者の低栄養ということで、昨年度、低栄養の基準が示されまして、成人では問
題ないが、高齢者ではやせというふうに基準になるものがありまして、第2次食育計
画の高齢者の低栄養について力を入れていこうということで、今年度、策定する中で
進めていく予定で、いまそれを特化して特別に事業をしていることはありませんが今
後力を入れていきたい事業です。

委員

ありがとうございました。

議長

他にございませんでしょうか。

委員

ただ今の低栄養の話と逆で、メタボの話なんですけども、燕市ではメタボ解消は課
題ですよ。燕市ではもっとも重要な課題ですよ。県内で多いということで、そう
すると元気かがやきポイント事業のウォーキングマップがとても有効ではないかと
いう話がありましたけれども、安全に歩ける場所とといいますか、たくさんそういった
ところがあればいいんですけど、一か所に立派なウォーキングに適した場所があつ
ても、それは、みんなが使えるわけじゃないですから、全ての地区にこういう推奨す
るような安全に歩けるウォーキングコースを推奨されているのでしょうか。私、不勉
強で申し訳ありませんが、そういう、たとえばウォーキングマップなかに、吉田地区
であればこのあたりを歩くのが良いとか、分水地区であればこのあたりが良いとか、
そういうものはございますか。

議長

事務局説明をお願いします。

課長

ご意見ありがとうございます。

この元気かがやきポイント手帳に付随してということで、書面等での紹介はしていませんが、確かに重要なことだと思いますので、今後、検討して取り入れていきたいと思います。過去には、県の事業で各市町村のウォーキングコースの紹介といった事業がありまして、5年以上前になりますが、そこで燕市として大曲河川公園の紹介させていただきましたが、皆さんにどの程度周知されているかというところでは把握はしていませんが、今後、ぜひ取り上げていきたいと思います。ただ、ウォーキングに関しましては、社会体育的な部分もありますので、社会教育課長から追加のご意見があればお願いいたします。

課長（社会教育課長）

いまほどのようなご質問についてでありますが、特にマップ化されたものはありません。今後の検討課題とさせていただきたいと思います。すみませんがよろしくお願いたします。

委員

燕市のほうで燕市を紹介している動画がいくつかありますよね。ダーツの旅でしょうかね。インターネットなどは若い人たちは見ているかと思いますが、そういったコースなどを紹介していただければと思います。燕市は、いいところがいっぱいあると思いますが、安全でなければ問題ですよ。歩道が整備されていないといけません。非常に燕市の発信がすばらしかったので、思いつきで質問させていただきました。ありがとうございました。

議長

歩行していただける方は、50人くらいいると思います。ふれあい広場の外周を歩いている方、もう一つは私どもが管理しております燕市体育センターでは、歩行コースはないんですが、体育館のなかにはランニングコースがあります。半分は歩いているに近い方です。コースは歩行ではありませんが、体育館では、大歓迎いたしますので、ぜひ走りにきていただきたいと思います。蛇足でした。

他にはございませんか。

無いようでありますので、本日の議事は終結してよろしいでしょうか。

それでは、私の職務は終わりますので、事務局の方、よろしくお願いたします。

課長

柴山会長、議事進行のほうたいへんありがとうございました。

皆様方には、本日は、長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。なお、配布資料につきまして訂正が多く、不手際があり、たいへん申し訳ありませんでした。次回から十分気をつけたいと思います。

以上をもちまして、会議を終了いたします。皆さま大変どうもありがとうございました。